

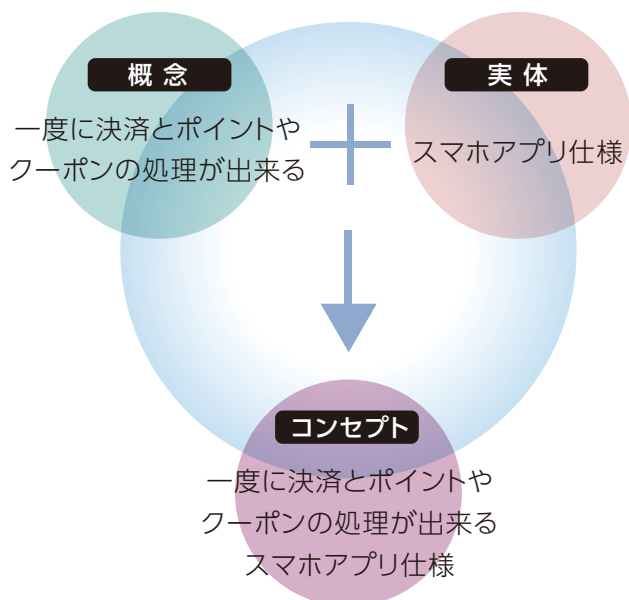
Smart Wallet Association

Wallet Working Group Concept Paper ver 1.0

スマートウォレット協会
ウォレットワーキンググループ
コンセプトペーパー 1.0版

1 イントロダクション

日本人の93.9%は、なんらかのポイント又はマイレージを貯めている程、ポイントに関心が高い国民性である。現在、大手銀行を始めとして、金融系ワレットアプリが多く存在するが、その多くは決済機能を主としたものを提供しており、これら金融系ワレットアプリには、ポイントカード機能やクーポン割引機能などもなく、加盟店の店頭にて、モバイル決済時に、ポイントやクーポンの同時処理は出来ていない。現在、クレジットカードは国際決済ネットワークの標準化されたオープンな仕様に基づき加盟店システム構築しているが、一方でポイントとクレジットを合わせて利用する共通的な仕様はなく、個々の加盟店別に個々のポイント別にシステムを構築している現状があります。



2 世間が感じている課題について

「電通キャッシュレスプロジェクト」が、2020年5月に行った、『キャッシュレス意識調査』によると消費者のキャッシュレス決済においてもポイント特典は、非常に重要なファクターであることが分かる。

1 キャッシュレスで最も重視すること

(出所：電通キャッシュレスプロジェクト、2020年一般消費者調査、SA:1000)

- ① 支払が早く済む：…………… 24.7%
- ② **ポイント特典**：…………… **23.5%**
- ③ キャッシュバック特典：…………… 16.7%
- ④ 割引特典：…………… 9.0%

2 キャッシュレスが増えた理由 (MA:467)

- ① **ポイントやキャッシュバックが魅力**： **76.8%**
- ② レジでの決済が早いから：…………… 54.5%
- ③ 衛生的だから：…………… 44.2%

3 モバイル決済を利用する理由 (MA:643)

- ① 支払が早い：…………… 65.0%
- ② **ポイント特典**：…………… **64.7%**
- ③ キャッシュバック特典：…………… 53.3%
- ④ 割引特典：…………… 36.3%

これらの状況を解決するべく、本コンセプトペーパーは、以下のトピックスを中心に検討を行うものである。

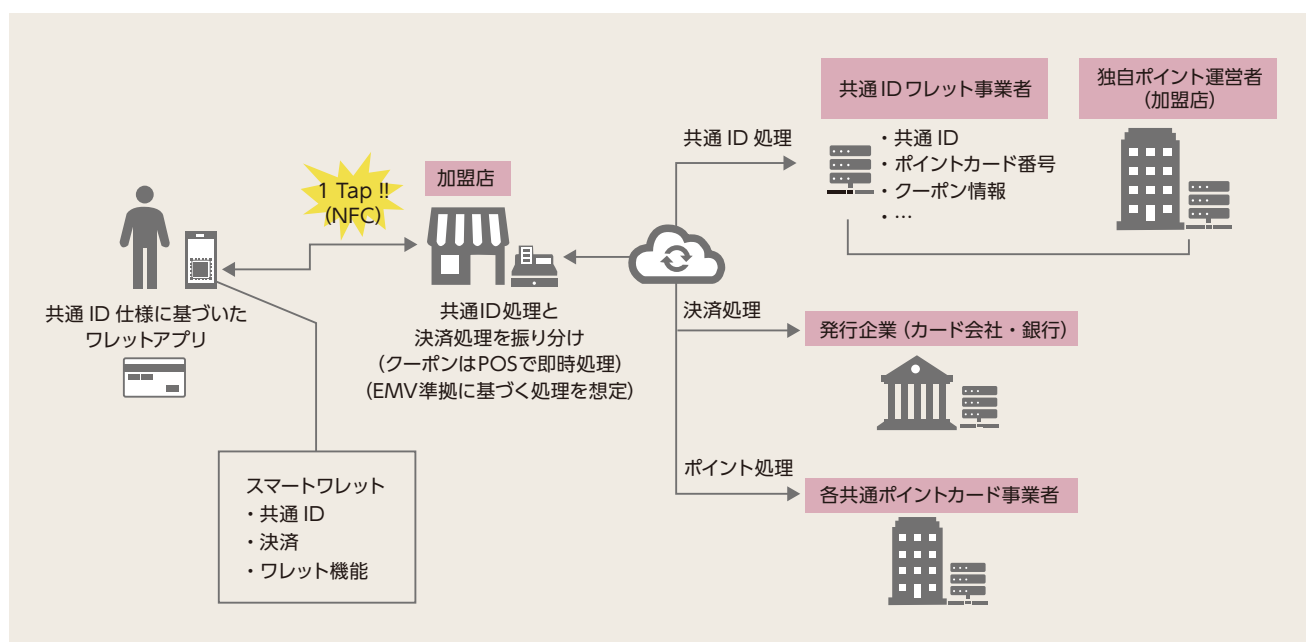
- カード支払いとスマホ支払いの区別なく、店員操作 (POS端末)はクレジットボタン (3面待ちボタン)を押下し、支払い処理とロイヤリティ (ポイント、クーポン) 処理を同時 (1Tap) に受入れる仕様を定義する
 - ▶ スマホアプリのUIとPOSアプリのUIに関する提案も継続検討する
- 消費者の保有する複数のペイメントカード、複数のポイントカード、複数のクーポンをスマホアプリ上で一元管理を行う仕様を定義する

3 スマートウォレット協会仕様の 対象スコープについて

- ① 支払い処理は国際決済ネットワークの非接触 EMV 処理による支払いサービス
- ② 支払い処理と同時にポイント処理、クーポン処理可能とする UX を追求
- ③ 国際決済ネットワークの支払い処理の伴わないポイント処理およびクーポン処理をサポート

4 スマートウォレット協会による 共通仕様について

- ① ポイントカード、クーポンのデータレイアウト仕様
- ② ポイントカード、クーポンのパーソナライズ仕様 (プロビジョニング)
- ③ POS, R/W からのデータアクセス仕様
- ④ メーカー側のクーポンを具備していく仕様



5 スマートウォレット仕様の対象スコープと共通仕様について

スマートウォレット協会で取り扱う共通IDウォレット仕様は、国際決済ネットワークの非接触決済（タッチ決済）における支払いとポイントカード、クーポン情報処理の

1Tap 処理化を実現するために、共通仕様に基づく加盟店インフラ化が効果的と想定される以下のスコープを対象に仕様の共通化を検討、推進する。

① ウォレットアプリとクレジット端末（R/W）間の共通仕様化

- ウォレットアプリとクレジット端末（R/W）間のデータアクセス仕様
- ウォレットアプリのポイントカード、クーポン情報のデータ格納領域とデータレイアウト仕様

② クレジット端末（R/W）とPOS 端末間の共通仕様化

- クレジット端末（R/W）とPOS 端末間のデータアクセス仕様
- クレジット端末（R/W）とPOS 端末間のポイントカード、クーポン情報のデータレイアウト仕様

③ POS 端末と共通IDウォレット事業者間の共通仕様化

- POS 端末と共通IDウォレット事業者間のデータアクセス仕様
- POS 端末と共通IDウォレット事業者間のポイントカード、クーポン情報のデータレイアウト仕様

なお、ウォレットアプリの普及促進にはパーソナライズ（プロビジョニング）の仕様、容易性が重要な要素と想定されるが、ウォレットアプリ事業者、共通IDウォレット事業者および独自ポイント運営者サービス事業者と密接に関係するため、ガイドライン化を検討、推進する。

以上

